



手作りおせちで明るく元気な正月を

町 食生活改善推進員連絡協議会のメンバー（会長畑中利子さん）による、おせち料理作りが12月28日（水）に母子健康センターにて行われました。これは、大石田町内のお年寄りの皆さんに、地元の食材を利用した手作りのおせち料理を食べていただき、元気で明るい正月を迎えてもらおうと、平成9年から毎年実施しているものです。昆布巻きにしん、錦たまごなど、メンバー7人が前日から福祉会館や自宅で手作りした手料理7品が色鮮やかに盛り付けられました。配送には町社会福祉協議会の配達ボランティアが協力し、おせち料理85個が一人暮らしのお年寄りの手元へと届けられました。

交通安全気をつけて「園児の手作り年賀状」

町 内の3つの保育園の年長児63人が町内の65歳以上の一人暮らしのお年寄り約160人に「手作り年賀状づくり」を行いました。これは、町交通安全推進協議会が高齢者の方の交通安全と健康を呼びかけるために毎年行っているもの。園児たちは、今年も交通事故にあわないで元気で明るく過ごせますようにと心をこめて年賀状をつくりました。ふたば横山保育園の園児たちは、たこ糸でかたどった動物やキャラクターなどの糸版画をスタンプで色を付けて年賀状を制作。この年賀状は、元日に町内一人暮らしの高齢者に配られました。年賀状をもらった高齢者の方の中には、返事を出してくれた方もいて、返事をもらった園児は大変喜んでそうです。



一人暮らしのお年寄りにクリスマスプレゼント

バ ルーンアートでクリスマスプレゼントづくりが12月19日（月）に福祉会館研修室にて行われました。この日は、高校生ボランティアサークル「二十四孝PART II」、「風ぐるま」のメンバーなど7名が、バルーンアート用の細長い風船に、空気をつめて、それを曲げたり、ねじったりして花や星などを成形。出来上がったバルーンアート約50個は、ボランティアいこいの会のメンバーにより町内の一人暮らしのお年寄りの方にひと足早いクリスマスプレゼントとして手渡されました。参加した鈴木詩奈子さん（鷹巣）は「おじいちゃん、おばあちゃんを笑顔にしたいという気持ちでつくりました。楽しいクリスマスを送って欲しい。」と参加した感想を話しました。



ニュース 玉手箱

身近なできごとや楽しい話など、広報紙で紹介したい話題をお気軽にお寄せください。町のホームページの「早耳通信」でも、大石田町のいろいろな話題を紹介していますので、ぜひご覧ください。

<http://www.town.oishida.yamagata.jp>

■役場総務企画課 総務グループ TEL 35-2111 内線218



あったまりランドで新春の行事

あ ったまりランド深堀で毎年恒例となっている新春餅つきが1月2日・3日に行われました。両日も午後2時から、あったまりランドを訪れたお客さんの前で、うすと杵を使って餅をつき、つきたての温かい餅を、納豆もちにして来館者に振舞いました。入浴に訪れたお客さんも杵を持ち餅つきに参加。新年の伝統行事を楽しんでいました。さらに5日には同施設で約7メートルもの高さのだんご木に約1,000個の色鮮やかなまゆ玉を飾り付けるだんごさしも行われ、入浴客は今年一年の幸福を願いながら、まゆ玉を飾り付けていました。このだんご木は2月の中旬位まであったまりランドロビーに飾られる予定です。



ふたば児童館で年越しそばづくり

ふ たば児童館の児童27人が12月27日（火）にふたば児童館にてそば打ち体験を行いました。講師は「そば道楽の会」の4名。講師を代表して高橋昭治さんがそば打ちの実演、井上邦義さんがそば打ち全体の流れを説明しました。児童たちは7人ほどのグループに分かれて、一人ひとり、講師の指導のもと実際に「こね」、「のし」、「切り」といったそば打ちを体験。出来上がったそばは、その場で茹でて、一足はやい年越しそばとして食べました。そば打ち体験に参加した藤畑和樹くん（大小6年生）は、「そば打ちは、2回目の体験、そばを切るところが難しかったけれど上手に出来た。自分でつくったそばはとても美味しかった。」と話しました。

